

# 特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

## 令和元年（2019年）度 第2回理事会議事録

1. 日時：2019年5月10日（金） 午前10時30分～12時

2. 会場：サプリ村野 環境保全研修室

（特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク事務局会議室）

3. 理事総数：15名

4. 出席者数：出席15名（本人出席：11名、委任状出席：3名、欠席1名）

5. 議 題：・上期事業報告

・上期予算執行状況

6. 議事経過及び結果

- (1) 本日の理事会は、定款第36条に定める定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。
- (2) 定款第35条の規定に基づき、伊丹理事が議長に就任した。
- (3) 定款第39条第6項の規定に基づき、議長が議事録作成人に事務局、議事録署名人に井上理事、市山理事を指名した。
- (4) 「上期事業報告」および「上期予算執行状況」について、丸井理事が概要の説明を行った。

### ※質疑応答

中塚：中間監査をしたところ問題はなかったが、わかりやすい資料作りの提案をさせていただいた。

市山：寄付金収入の項目に事業名があるのはどういうことか

丸井：指定事業に対する寄付があるからである。

末岡：寄付が何件なのかがわかると思う。

丸井：検討する。

末岡：事業報告の中で、エコノート取り組みによるCO2削減量はでないか。

丸井：年度末には出している。

石本：地球温暖化対策の助成金収入の予算が0なのに実績があるのはなぜか。

丸井：セブンイレブンに助成金申請をしたところ、受託できることとなったが、決定したのが4月以降であったため、予算としてはあげていなかった。

井上：ピコ水力プロジェクトに対するリコーからの寄付金はどこに計上されているのか。

丸井：通常経費とは別にプール金として処理をしている。なぜなら、モニュメント建設には 60～70 万ほど必要なのでそれを積み立てていかなければならないからである。年度末の財産目録には反映される。

末岡：セブンイレブンの助成金は、温暖化事業に入っているが、環境講座ではないか。

丸井：修正します。

市山：予算の期間表示として令和元年 4 月 1 日になっているがこれでいいのか

中塚：平成 31 年 4 月 1 日に修正した方がよい。

黒津：事業報告の方は西暦になっている。

丸井：修正し、統一する。

末岡：環境講座が充実してきている印象をうける。

川南：今回の報告をみると、事業が増えていると感じた。今後も引き続き頑張っていたきたい。

丸井：事務局としては、減らしたいという悲鳴も出ているが、減らすことを考えると後ろ向きになるので、強い気持ちで続けていきたい。

谷崎：リユースコーナーの内容はどういったものか。

丸井：こども用品である。大型のものは写真展示としている。

伊丹：貴重な意見が聞かせていただいてありがたい。この件については引き続き検討していきたい。

## 7. 閉会のことば

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。(11 時 18 分)

上記の議事の要領及び結果を明確にするために、議長並びに議事録署名人 2 名が、次に記名押印する。

2019 年 11 月 8 日

特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議 理事会

議 長 伊丹 均 ⑩

議事録署名人 市山 二郎 ⑩

議事録署名人 井上 祥子 ⑩